



朝も夜も、ひとのため。

春日井市消防署

- Kasugai City Fire Station -

このまちを守る、場所がある。



297 x 210 mm

We will continue to do
our best for this city.



1974年から
春日井市を守ってきた消防署が
50年の節目を迎え
2024年、生まれ変わりました。

消防署の概要

敷地面積

7,813.09 m²

延床面積

3,943.32 m²

構造

鉄筋コンクリート造3階建て
(建築基準法上は4階建て)

供用開始

令和6年4月1日

住所

〒486-0814
春日井市北城町3丁目2番地2

電話

0568-56-0119

ファックス

0568-85-1244

メール

syobosyo@city.kasugai.lg.jp



執務室

約300㎡の広々とした執務室はフリーアドレス、フリーワゴンで効率的にスペースを使用しています。また、場を共有することで職員同士の交流が生まれ、連携強化に繋がっています。

さらに、床の色を変えることで動線が明確になり、安全で迅速な出動ができています。



ホール

姉妹都市との交流の記録や昔の消防ポンプが展示されています。



出動準備室

個人の防火衣やヘルメットなどがありここで着替え出動準備をしています。



救急訓練室

訓練用のAEDや人形が置いてあり救急活動の訓練や検証をしています。



会議室

最大120人まで収容可能であり会議や研修等に使用しています。



打合せ室

開放感のあるガラス間仕切りの部屋で立ち会議や休憩などに利用しています。



トレーニング室

人命救助に必要な体作りをするため日々、トレーニングをしています。



食堂

カウンターや大きなテーブルがあり自由な席で食事をしています。



浴室

大きな浴槽や複数のシャワーにより複数人同時に使用しています。



仮眠室

全室が個室となっているため職員のプライバシーが守られています。



車庫

約600㎡の大きな車庫にははしご車などの大型車両を含む合計11台の車両が格納されています。開口部は大きく設計されスムーズに出動することができます。

また、この開口部全面に電動式のシャッターが設置されており防犯対策がされています。



消防署だからこそ、わかることがある

消防署3階には見て、体験して、学べる
防災学習コーナーが設置されています。

ここでは、様々な学習体験を通して
災害発生時に必要な
意識や知識を身につけることを目指しています。

必要な意識・知識とは？

- 1 「危険を回避できる」意識・知識
- 2 「自分の身を守る」意識・知識
- 3 「助けを求める・助ける」意識・知識



君も消防士になってみよう！

3階のホールには、消防士になりきれる
子ども用の防火衣や救助服などが置いてあるよ。
自由に着てみて、かわいい写真を撮ろう！



日々の訓練で災害に備えよう！

火災が起きたらどうする？
応急手当のやり方は？
災害に備えてすべきことが学べるよ！



映像で知識を身に付けよう！

春日井市で地震や洪水などの災害が起きた時
どんな被害が想定されるのか映像が見られるよ！
目で見て災害の恐ろしさを知ってみよう。



防災学習コーナー



3つの災害を体験して、もしもの時に備えよう！

1 地震体験



地震を想定して
机の下で身を守ったり
不安定な足場を通過して
外に逃げよう！

2 火災体験



火災を想定して
真っ暗な部屋の中で
煙を避けながら
外に逃げよう！

3 風水害体験



洪水を想定して
水浸しの道を通り
足元の障害物に気をつけて
安全な所に逃げよう！

風水害

地震

消防署 で働く 消防士

Rescue

危険な状況にある要救助者を救出するための知識・技術を持ち人命救助を第一任務とします。救助隊は様々な現場で活躍し山や川でも救助活動を行います。

救助隊

Firefighting

火災現場では消防隊が中心となり消火活動を行います。火災以外の現場でも救助隊や救急隊の支援を行い全ての現場に必要な存在です。

消防隊

Treatment

事故や災害での怪我人や急病人に対して処置を施し医療機関に救急搬送をします。救急救命士の資格を持つ隊員はさらに高度な処置が可能です。

救急隊

Command

火災などの災害現場では主に指揮隊が災害状況を把握し各部隊に適切な指示を出します。指揮隊の管理・指揮により安全で効果的な活動ができます。

指揮隊

放水訓練

迅速な消火活動をするためホース延長や放水の訓練を繰り返し実施しています。



救助訓練

あらゆる現場に対応するため車両破壊、降下、潜水など様々な訓練を実施しています。



救急訓練

適切に処置を施し搬送するため傷病者のあらゆる容態を想定し命を繋ぐ訓練をしています。



連携訓練

火災や地震など大規模な災害でより多くの人の命を救うため指揮隊の管理・指揮のもと消防隊・救助隊・救急隊が連携した訓練をしています。



自家用給油取扱所

春日井市の公共施設として初めての設備になります。軽油 3500ℓ、ガソリン 6500ℓの地下タンクを備えています。



訓練棟

5階建ての訓練棟は建物火災、マンホール事故などあらゆる災害を想定して実践的な訓練が可能な施設です。



自家用発電設備

長時間の停電にも対応できるように給油なしでも最大1週間稼働することができる発電設備を備えています。



見学スペース

2階に設けられたこのスペースは訓練棟が目の前にありタイミングがあれば訓練を見学することができます。



サイネージモニタ

庁舎東面に約 178 インチのサイネージモニタを設置し消防や春日井市からのお知らせや災害情報を発信します。



太陽光発電設備

非常時における電力確保のほか地球温暖化対策のため屋上に容量 20kW の太陽光発電設備を備えています。



車庫内にある主な消防車両

消防車両は多くの種類があり災害の内容に応じて対応する車両が変わります。

